

平成25年度 青森県森林病虫害等防除活動支援体制整備促進事業

青森県森林病虫害等 防除センターだより

No 42

2014.3



雪による倒木前の二の丸大枝垂(シダレザクラ／弘前公園)

青森県森林病虫害等防除センター

平成25年度 森林病虫害等被害対策研修会

平成25年10月29日、当防除センター主催で「平成25年度 森林病虫害等被害対策研修会」を弘前市みどりの相談所で開催しました。研修会には国、県、市町村、森林組合等の職員29名が参加しました。

研修内容は、県林政課 佐々木 祐介主査が「青森県における最近の松くい虫被害状況」を報告。また、地方独立行政法人 青森県産業技術センター 林業研究所の土屋 慧研究員が「青森県におけるマツ材線虫病被害の防除対策」を説明した。弘前市公園緑地課 小林 勝参事が「弘前公園樹木管理について」の講義及び園内での管理方法を説明した。研修内容については下記のとおりです。

林業研究所 土屋研究員の説明資料

青森県におけるマツ材線虫病被害の防除対策について




(地独)青森県産業技術センター
林業研究所
土屋慧

隣県の被害状況

岩手県
 ✓ 今年新たに雫石町、住田町、滝沢村、九戸村で被害
 →九戸村は既発生地から70Km以上の距離


秋田県
 ✓ 全25市町村で被害
 ✓ 県北部の八峰町、能代市、三種町で県の約70%の被害量
 →海岸部を重点的に薬剤の予防散布を実施



岩手県の松くい虫被害分布

マツノマダラカミキリ捕獲頭数

- 今年は深浦町北寄りでの捕獲が目立つ
- 連年の高温で飛来個体が増加？



凡例
● マツノマダラカミキリ捕獲地

- 深浦町岡崎大間 メス2頭
- 深浦町鱈作 メス2頭
- 深浦町黒崎小浜 メス1頭
- 深浦町大間越寛 メス1頭

県内の松くい虫被害の特徴

- 同一林分内で**単木的**な被害
- 後食痕等の**痕跡が見つからない**ことが多い

→少数のカミキリによる加害で線虫が樹体内に低密度、局所的に分布？

→数年かけて線虫が増殖し感染木が枯死？
(年越し枯れ)

被害段階での防除の重要性

- ・ 現在は特別予防監視区域内で被害を監視できているが、もし被害が拡大すると…
→空中散布等の薬剤による防除は**莫大なコスト**

- ・ 材線虫類は寒冷地では枯死木中での増殖が遅く、樹体内での分布が局所的であることが多い
→被害が残りやすい(**年越し枯れ**)
→被害を見逃すことにも…



被害の予防

- ・ 防除帯の設置
数年間のカミキリの捕獲頭数低下
- ・ 衰弱木の除伐
カミキリの発生源及び繁殖源を断ち切る
- ・ 薬剤散布
マツを含む森林が水源地の場合実施困難
- ・ 樹幹注入等
御神木などの重要な木には有効、数年サイクルで実施が必要になる

被害リスクの軽減

今後被害が定着した場合海岸防災林が壊滅的な被害を受けないために…

- ✓ 広葉樹等への樹種転換
カシワ、イタヤカエデ、シナノキ、ケヤキ等
- ✓ マツ材線虫病抵抗性品種の育成
県内産クロマツ精英樹と県外産抵抗性品種との交配
→現在有望家系2系統を選抜

弘前公園緑地課 小林参事の管理方法の説明資料



サクラの歴史

- ・ **1715年(正徳5年)**
藩士が京都からカスミヤマザクラを25本持参し、城内に植栽
- ・ **1848年(弘化5年)**
富田屋敷から、北の丸菜園へ桜20本を移植
- ・ **1882年(明治15年)**
旧藩士の菊池循衛が吉野桜(ソメイヨシノ)1000本を植栽
- ・ **1901年(明治34年)～1903年(明治36年)**
嘉仁親王ご成婚(1900)の記念として、市議(旧藩士)の内山覚弥の提案で、ソメイヨシノ1000本を植栽
- ・ **1914年(大正3年)**
弘前市在住宮城県入会がシダレザクラを寄付
- ・ **1956年(昭和31年)**
元市議 福土忠吉がソメイヨシノ1300本を寄付

- ・ **1968年(昭和43年)**
チェリーライオンズクラブが本丸にヤエベニシダレを寄付
日本さくらの会からヤエベニシダレ配布される
- ・ **1973年(昭和48年)**
県緑化推進委員会がヤエザクラを寄付(二の丸)
- ・ **1975年(昭和50年)**
開園80周年記念として昭和桜植栽(三の丸土塁)
- ・ **1985年(昭和60年)**
開園90周年記念としてサトザクラ植栽(ピクニック広場)
早咲き種として横浜耕桜を導入(三の丸)
- ・ **1986年(昭和61年)**
弘前城植物園に桜園造成(サトザクラ31品種新植)

弘前公園のサクラ管理

- ・ **昭和27年 公園管理事務所設置**
明治36年までに植栽されたサクラの寿命期。
「サクラ切る馬鹿ウメ切らぬ馬鹿」
- ・ **昭和30年代**
当時の職員に実家がリンゴ農家の者がおり、サクラの罹病枝を思い切って剪定し、リンゴと同じように肥料を与えた。
それまでは諺どおりの管理をしていたが、新枝が伸び、弱っていたサクラが回復したため、リンゴの管理方法を参考にし、サクラ管理の基礎を固めた。

「弘前公園職員による直営管理」

臨機応変の管理が可能

- ・ 歴代所長・課長・職員による技術指導で、技能職員の技術向上と後継者育成が行われてきた。

「樹木医の配置(平成4年～)」

科学的根拠に基づいた効率的な管理

- ・ 基本的樹木管理の徹底と、剪定・施肥技術の向上、土壌改良の実施。



平成23年12月26日

二の丸大枝垂(シダレザクラ) 雪により倒木



根の腐朽状況



平成24年6月3日

樹勢回復治療(根接ぎ状況)



平成24年6月18日

樹勢回復経過状況



平成25年8月21日

樹勢回復経過状況

● 発行 ●

青森県森林病虫害等防除センター

青森市松原一丁目16番25号 青森県森林組合連合会内

TEL 017-723-2657 FAX 017-723-1505

<http://www.aomori-pfau.or.jp/>

